

今週のメニュー

■トピックス

◇PVC Award 2025 オーディエンス賞が決定！

■随想

◇「しるし」：デ(de)・sign・しましょう

—デザイナーやクリエイターとのコラボレーション

塩ビ工業・環境協会 事務局長 塩田 克博

■トピックス

◇PVC Award 2025 オーディエンス賞が決定！

「生活を豊かにする PVC 製品」をテーマに開催された「PVC Award 2025」の応募作品を広く一般に紹介する事を目的に、東京と名古屋の2会場で展示会を開催しました。両会場を通して2,243人の来場があり、過去2番目の盛況となりました。それぞれの会場では有志の方に人気投票をお願いし、949の方に投票していただきました。

いざ人気投票となると、投票者の方々は真剣に一つひとつ作品を見分され、『どうやって使うの?』とか『どの部分が塩ビなの?』など、たくさんの質問も寄せられました。また、投票用紙の回収時には『楽しかった!』『素敵な作品がたくさんあり、ワクワクしました!』『実際に欲しくなりました!』『塩ビのイメージが変わりました』『全部塩ビで出来ていることに驚いた』『塩ビの展示を見るだけでなく、触れるのがとても良いと思いました』などなど、たくさんのご意見を頂きました。この度、投票結果を集計してオーディエンス賞(人気上位5位)が決定しましたので紹介します。

【受賞者】 大和ちさ氏 (OILdesign、共同応募 森松(株)、(有)オギ工業) 1位 (165票)

【作品名】 PVC 組み立てポット (チューリップポット・ハンドルポット)

【説明】 スナップボタンだけで簡単に組み立てられる、色彩豊かな透明塩ビ製のポットカバーです。使わない時はフラットに収納でき、省スペースで保管できます。つなぎ目のない構造のため水漏れの心配がなく、植物を手軽に美しく演出できるのも特長です。誕生日や母の日など、本体に直接メッセージを書いて、想いを添えることもできます。ラッピング資材を通して、暮らしに彩りを添えてくれます。



【受賞者コメント】 素敵な賞をありがとうございます。直感的に「かわいい！」と感じていただけたことが一番の喜びです。本作は塩ビの耐水性や透明性、柔軟性を活かし、ボタンで簡単に形になるポットカバーです。一枚シートになり、想いを書き込める「アナログな温もり」を大切にしました。お花を贈る人の心を伝えるツールとして役立てば幸いです。

【受賞者】 有限会社ダヴィンチクリエイト 原ロー広氏

2位 (139票)

【作品名】 リラックスヘッドスパ「至福づつみ」

【説明】 軟質塩ビの弾力性を活かした手動タイプのヘッドマッサーです。軟質塩ビの配合調整によって生まれた「痛気持ちいい」使い心地と、頭にフィットする独自形状が特長で、被って押すだけで手軽に頭をマッサージできます。塩ビ素材なので耐水性と耐薬品性に優れており、お風呂場でも整髪剤と併用可能。電気を使わず軽量なため、どこでも気軽に使えるエコな健康アイテムです。



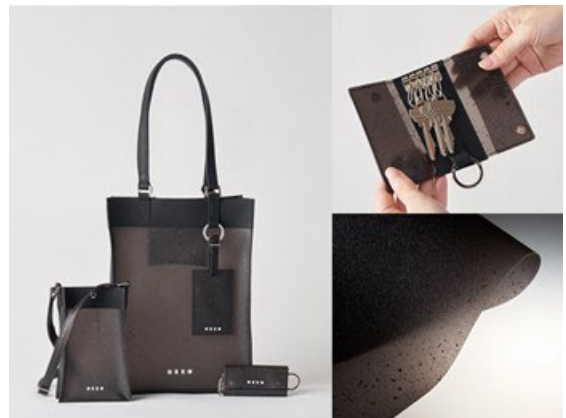
【受賞者コメント】 この度はオーディエンス賞をいただき、誠にありがとうございます。お客様からの評価は何よりの励みになります。『開発者の片頭痛という悩み』から生まれた製品ですが、今回の受賞を機に、素材の力を活かしたものづくりの大切さを再確認いたしました。今後も皆様に価値ある製品を届けられるよう邁進してまいります。

【受賞者】 株式会社三洋 (共同応募 オクノテ)

3位 (130票)

【作品名】 OBRO (オボロ)

【説明】 これまで廃棄されてきた革端材をアップサイクルし、PVCに練り込んで生まれたバッグです。革端材をパウダー化して混合することで、粒子が光を受けて表情を変える、奥行きのある質感を実現しました。塩ビの透過性と革調エンボス加工が重なり合うことで、見えすぎない“朧(おぼろ)”な透け感が生まれています。防水性・耐久性にも優れ、日常からアウトドアまで幅広く使用可能です。不純物を排除するという素材の常識を問い直し、意匠性とサステナブル性を両立しました。



【受賞者コメント】 この度はオーディエンス賞にご選出いただき、大変光栄に思います。PVCはファッション用途ではカジュアルな素材として認識されることが多いですが、今回の開発では高級感のあるデザイン性の高いシートとしての新たな表現に挑戦しました。共同開発の成果がこのような形で評価さ

れたことを大変嬉しく思います。今後も素材の特性を活かしながら、新しい価値を提案できる製品づくりに取り組んでまいります。

【受賞者】 白金化成株式会社 國井勇輝氏 4位 (128票)

【作品名】 ペットボトルランタン

【説明】 これはペットボトルに被せて底部にスマートフォンライトを当てるだけで、やさしく光る簡易ランタンになるアイデア商品です。光を吸収して端部が発光する集光シートを使用し、シンプルな仕組みながらも美しく輝く独創的なデザインを実現しました。ほとんどのペットボトルに装着可能で、赤・オレンジ・黄色の3色あり、日常のちょっとした灯りから災害時の簡易照明まで広く活躍します。

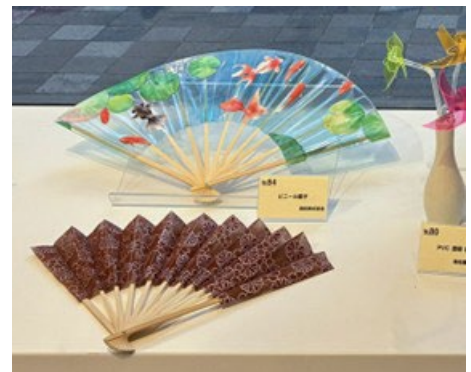


【受賞者コメント】 昨今の災害対策として使える簡易ランタンのアイデアから開発しました。ペットボトルに装着し、底からスマートフォンライトを当てることで、塩ビの色透明素材がやわらかな光を演出します。非常時だけでなく、おうち時間のインテリアとしても活用できる点を意識して開発しました。

【受賞者】 森松株式会社 安井浩二氏 (共同応募 ㈱オギ工業) 5位 (111票)

【作品名】 ビニール扇子

【説明】 軟質塩ビに特有の透明感を活かし、紙や布にはない「透け感」を楽しめる新感覚の扇子です。水や汗に強く、濡れても破れないため、夏祭りや屋外イベント、プールサイドなどでも安心して使えます。透明素材ならではの印刷表現や装飾表現にも対応でき、涼しさとデザイン性を兼ね備えた、これまでにない夏アイテムです。



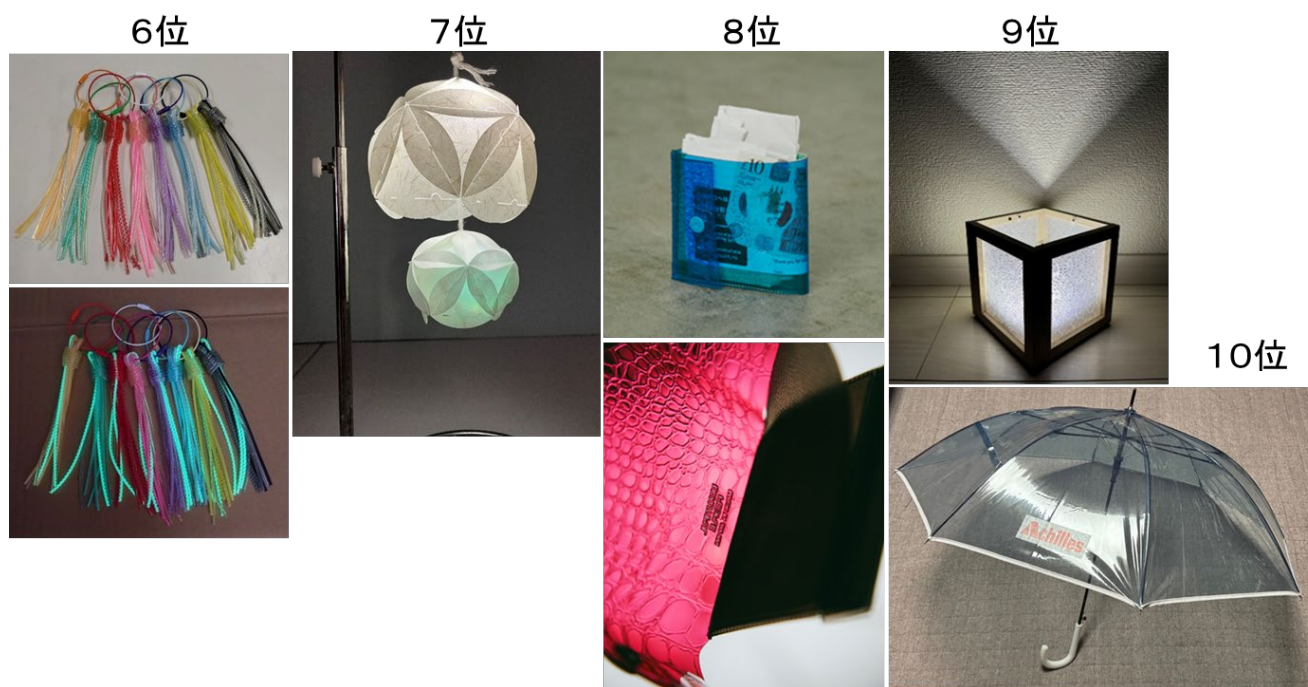
【受賞者コメント】 このたび多くの方にご評価いただいたことを大変うれしく思います。紙や布では表現できない透明ビニールの透け感を生かし、新しい印象の扇子を目指しました。レース生地も組み合わせることで立体感を加え、作品の魅力を上げました。今後も新しい発想と工夫で、PVCの魅力伝える作品づくりを続けてまいります。

尚、今回、オーディエンス賞には選ばれませんでした。人気投票6～10位は次の作品となりました。何れも高い完成度と実用性を併せ持つ良い作品でした。

6位 (92票)・・・PVC蓄光ロープ

7位 (84票)・・・風鈴カバー時々ランプシェード

- 8位 (74票) ・ ・ ・ NOTHING-TO-HIDE vinyl mini wallet
 9位 (72票) ・ ・ ・ 割ることができないレトロランプシェード
 10位 (71票) ・ ・ ・ 軟質透明塩ビ晴雨マルチビニール傘



私ども運営委員会は、次回（2027年）にも Award の開催を予定しております。引き続き、魅力ある社会に貢献する塩ビ製品の発掘を進めたいと思います。次回もお楽しみにしてください。

（横山泰三）

■ 随想

◇ 「しるし」：デ(de)・sign・しましょう

ーデザイナーやクリエイターとのコラボレーション

塩ビ工業・環境協会 事務局長 塩田 克博

前回 ([No.820](#))、奈良東大寺二月堂の修二会のお水取りとお松明にまつわる伝説など、春のおとずれと「しるし」について書きましたが、今回は、その「しるし」とデザインの話になります。その「デザイン」ですが、そもそも design という言葉は、ラテン語の designare から派生した言葉で、「表示する」「指示する」「計画したことを記号にあらわす」といった意味があります。綴りに signum (しるし) を含んでいるので「しるす」ことがデザインと思いがちですが、語源的には、de-signare は、「脱・しるし化する」、つまり「しるし」によって何かから脱却することを意味しているのだそうです。そうだとすると、前回の香水や松明も時間に遅れたことや傲慢冷酷な振る舞いの悔過（かけ）を聖なるものや無病息災のご利益というものへ脱していく「しるし」というものなのかもしれません。

ところで、このメルマガでも既に取り上げていますが、先日、PVC Award 2025 の表彰式が行われました。今回の特徴の一つにクリエイターとのデザイナーとのコラボレー



クリエイティブシーズ発表会
「かかりつけクリエイターを見つけよう」
(写真 メビック提供)



この街のクリエイター博覧会 2025
(写真 メビック提供)

ションした作品がいくつかあり、その中でデザイン性がとくに評価されたものがデザイン賞を受賞しました。PVC 製品においても「design」することが求められてきているように思います。この PVC Award にも協賛している団体で、大阪市が設置主体で公益財団法人大阪産業局が運営主体となっているクリエイティブネットワークセンター大阪 メビック (MEBIC) というところがあります。2003年にクリエイティブ産業のための創業支援施設「扇町インキュベーションプラザ メビック扇町」としてオープンし、20年以上にわたる活動を経て現在に至っています。このメビックは大阪で活動するクリエイター同士やクリエイターと企業などとの「顔の見える関係づくり」を進め、競争とコラボレーションを築くためのコミュニティや新たなビジネスや価値が生まれる環境をつくっています。具体的には企業によるクリエイター募集プレゼンやクリエイターによるクリエイティブシーズ発表会、展示・展覧会の企画や出展などによりさまざまな出会いと事業創出を行なっています。2021年にはマイドーム

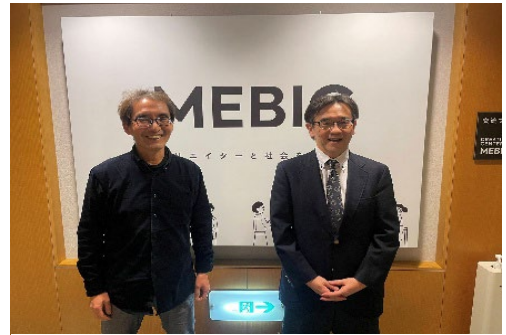
大阪の1Fに発信拠点としてのcollabolabをオープンし、クリエイターと企業・団体やクリエイター同士の協働と共創により生み出された様々な製品やサービスなどを紹介する展示会やイベントなどを開催しています。

先ほどPVC Awardで生まれ始めたクリエイターやデザイナーとのコラボレーションに先行し、20年もの歴史を築いてきた団体といえます。塩ビという古くからある汎用樹脂としての有用性と利便性や環境特性、経済性という価値はもとより、これからはそこに新たな価値づけや意味づけをしていくことが大事なことであり、また、市場もそれに期待しているのではないかということ为先般のPVC Awardの特徴は示しているのかもしれませんが。このメビックの所長の堂野氏は、PVC Awardの前身のデザインアワードの頃から協力をいただいているのですが、実は私の高校時代の友人です。創設当時の扇町の事務所にも一度伺ったことがあるのですが、たまたま私が2年半ほど前に現職に赴任したことで、偶然にも20年後に再会するという不思議な縁となりました。



collabolabで開催された「広告マンガ展」
(写真 メビック提供)

デザイン性のある製品といってもなかなか量が出るわけではありませんが、これだけわれわれの生活に身近に普及し支えている塩ビというものをより理解していってもらうためには、単に有用性や利便性、経済性を訴えるだけではなく、それを使って楽しいとか、きれい、かわいいとかかっこいいという感性にも訴えていくことも必要なのではないでしょうか。より川下で製品展開をしている加工企業さんや卸・小売販売に携わられている方々にとっても斬新なアイデアを有する人たち（クリエイター）との出会いがあらたなヒントになるのではないかと思います。



左が堂野氏、右は筆者

■ 関連リンク

- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)

※本メールマガジン上の文書・画像等の無断使用・転載を禁止します。



■ 東京都中央区新川 1-4-1

■ TEL 03-3297-5601 ■ FAX 03-3297-5783

■ URL <https://www.vec.gr.jp> ■ E-MAIL info@vec.gr.jp